

# ほろいずみ ニュース No. 174

発行: えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日: 令和5年3月1日  
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地  
TEL: 01466-2-2410 E-mail: erimomus@cocoa.ocn.ne.jp  
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

## ◆ 体験陶芸教室を開催しています ◆

体験陶芸教室(午前の部、夜の部)が、2月15日、22日、3月6日の全行程3回で始まりました。

初日、粘土を練る作業から始まり、参加者が作りたいと考えてきた「お皿」などの形づくりです。

参加者の中には、初めて体験する親子や久しぶりに参加した方もおり、講師や職員からアドバイス受けながら、思い思いの作品を楽しみながら作りました。



粘土を伸ばす作業を行う参加者

2日目、作品の厚みなどを調整する形削り作業を行う。削る作業には「力加減」が難しく、少しでも力を入れ過ぎると、作品を削り過ぎたり、潰れて

しまうことがあるため、参加者は慎重に形を整える作業を行いました。

作品はこの後しっかりと乾燥させ、電気窯(700°)で素焼きを行います。



慎重に形を整える作業を行う参加者

最終日の3日目(3月8日)には、素焼きした作品に好きな色の釉薬(ゆうやく)をかける色付け作業を行い、本焼きして完成です。



形成後、乾燥中の作品(マグカップなど)

## 町指定文化財「猿留山道」

「猿留山道」は、寛政十一年(1799年)に開削された北海道における最初の官製道路の一つで、重要な文化財であることから、平成21年(2009年)4月1日に町指定文化財第8号に指定されました。

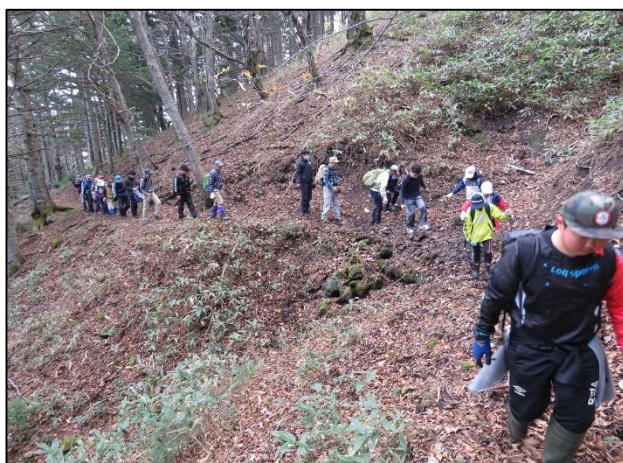
猿留山道は、江戸時代末に蝦夷地(北海道・北方四島など)周辺に出没する外国船(ロシア、アメリカ)などから、蝦夷地を警備するために、情報伝達や物資運搬などが容易になるよう陸路の整備を幕府によって行われています。

また、沼見峠にある石碑2体(妙見神、馬頭観世音菩薩)は、場所請負人が建立したものです。

平成30年(2018年)2月13日には、猿留山道と石碑2体が国史跡に格上げ指定されました。

戦後、新たに開削された区間は町指定文化財となっています。

教育委員会では、北海道を警備するために開削され、人々が歩いた「猿留山道」を知ってもらうため、年1回(10月頃)に「猿留山道を歩く会」を開催しています。



「猿留山道を歩く会」で昔の道を歩く



沼見峠にある石碑2体「妙見神」(左)、「馬頭観世音菩薩」(右)

3/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
○	○	○	○	○	○	休館日	体験陶芸教室	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4/1	2	3
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○

3月～4月の  
開館カレンダー